

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果報告と今後の対応について

### 浜松市立篠原小学校

《保護者のみなさまへ》

「全国学力・学習状況調査」は、学力の実態と、学力の背景として考えられる学習や生活状況を把握・分析し、改善を図るために全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、文部科学省が実施したものです。今年度、小学校では国語・算数を調査しました。本校で実施した、本調査の状況分析と対策について報告いたします。

「学力・学習状況調査」の結果を活用して、学校と家庭、地域社会が連携しながら、学力の向上や豊かな心の育成、規則正しい生活習慣の定着を目指していきたいと考えています。保護者のみなさまの御理解と御協力をお願い申し上げます。

#### 【状況分析】

- 全教科（国語・算数）において、全国・静岡県の前年調査の平均正答率を上回り学習内容は概ね定着している。
- 国語科の「読むこと」の領域において良好な結果が見られた。特に「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」問題では、全国平均を大きく上回った。自分の考えを条件に従って記述することができると思われる。  
本校では、国語科において「自分の思いや考えを伝えること」を重点として授業改善に取り組んでおり、低学年からの積み重ねが表れた結果であると考えられる。
- 国語科の「漢字を使って書く」問題では、全国平均を下回った。学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られる。
- 算数科の「台形を選ぶ」問題では、全国平均を大きく上回った。台形について正確に理解できている。
- 算数科の「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る」問題では、全国平均を上回った。資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの量の増減を判断し、その理由を記述できている。
- 算数科では、除法や異種の割合に関する問題、図形の見方を働かせて面積の求め方を説明する問題で課題が見られた。特に「示された除法の式の意味を考える」問題では、除法の式において示された数量が何を表しているのか分からない児童が多かった。
- 無回答率においては、全国平均に比べて問題後半部で高くなっていて、時間内にできなかった児童がいることが分かる。長文の問題を読み取ることに時間がかかり、考える時間が確保できなかった児童がいたと考えられる。
- 質問紙調査においては、「国語の勉強は好きだ」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思う」について全国平均より低くなっており、課題が見られる。学習の理解は進んでいるが、何のために学習するのかについて悩む児童がいると考えられる。

#### 【対策】

- 国語科の漢字の学習では、字形に注意して繰り返し練習するだけにとどまらず、自分が書いた文章を推敲する中で、漢字のもつ意味を考えながら文章の中で正しく漢字を使えているかを見直す習慣が付くよう指導を工夫する。

- 算数科の除法の学習では、除法の式や場面において示された数量が何を表しているのかを、具体物や図、数直線などを用いて考察させるなど指導の方法を工夫し、子供が式の意味について理解を深めることができるようにしていく。
- 長文の問題でも、時間を掛けずに大体の内容を読むことができるよう、読書量を増やしていく。
- 全教科において、何のために学習するのか目的意識や課題意識を明確に持った上で、学習活動に取り組むことを重視していく。

## 【児童生徒質問紙】からみる「しのささっ子」の姿

◎良いところを、さらに伸ばしていきましょう。

設問内容	①「将来の夢や目標を持っている」	②「自分にはよいところがある」
篠原小学校	<b>88.1%</b>	<b>89.6%</b>
静岡県（公立）	84.8%	83.7%
全国（公立）	83.8%	81.2%

◇ 自分のよいところを見つけている児童が多くいます。

設問内容	③「自分で計画を立てて勉強している」	④「学校の授業以外に普段1時間以上勉強をしている。(学習塾などを含む)」
篠原小学校	<b>75.6%</b>	<b>71.1%</b>
静岡県（公立）	72.4%	70.3%
全国（公立）	71.4%	66.1%

◇きちんと学習する習慣がついています。

●ちょっと考えてみましょう。

設問内容	①「家の人（兄弟姉妹を除く）に学校の出来事について話をする」	②「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」
篠原小学校	<b>73.3%</b>	<b>48.9%</b>
静岡県（公立）	79.0%	53.2%
全国（公立）	77.4%	54.5%

◇ 家庭で話をする時間を大切にしましょう。

◇ 地域や社会とつながる機会を増やし、よいと考えたことを実行しようとする意欲を育てていきましょう。

## 子供たちの学力をさらに伸ばしていくために

- 学校では…
- ・ 学習調査の分析結果を授業改善に役立てていきます。
  - ・ 各教科で身に付けたことを様々な課題の解決に生かすことができる機会を設け、何のために学習しているのかを感じ取ることができる工夫をしていきます。
  - ・ 家庭学習への支援をさらに進めていきます。

- 家庭では…
- ・ 今後も規則的な生活・学習習慣を続けていけるよう子供たちの生活を見守りましょう。
  - ・ お子さんと話をする時間を大切にしましょう。
  - ・ 地域の活動に積極的に参加し、社会や地域のことを知る機会を増やしましょう。